坂東彦三郎作
歌川國安画

仙台大町四丁目
本屋問物問屋
府
辻屋矢衛

成者新版

通油町鶴屋喜右衛門版

後

へ13
3852
2

門へ13
3852
2

丙戌春新板

後編

てんぐ
ひのき
こどら
ぶ亀
作味噌
地獄
あ蛍
きつか作
おあ画

仙窟堂

そのちひーやのふくろうへ
おんぞうりいくのこまつげさとえき
あげやいりをちやうりくまへ
ときの人こまぐさのふくろうと
のひろうこうかまへ人々の世
まそもこのそこ
ものこをあげ
さのうえ
このひ
ふくろう
ありちがあ
うえまこ
せこのゆ
いひうぐ
いくさま
のこまつ
さこのこ
しへいこ
そこけみ
きやくの
のひこま

頂戴高

てんぐ
こども
あげこを
ちくのはふくろう
ようちがまり
しとろう

きさひやうごやのたくさんにもとらのとしのさそひきよ
ぶうちうけきぶこれいひうぶうぶうぶうぶうの文が
いろあめのうくをかいてこうくというんんーてりイイうきを
あうくーいこをよさろそのさいちとこるくくんんーくれば
らのうへいきのようーじんとてのげやりのたびごとよ
ちんぞうかむろにのくろまるでこるまろむくをそきすくれば
こをのんまろむくのまそちーとくるくらいさまうぐを
こをものどこゆやのうくきさとうりくいるくーこよ
その日八月のたくさくうりくれば今の世ふ
いくうきうでたくさくよまろむくときくるのい
らのひやうごやのたくちーとうりさまが
たぐまうーとうりさまが
これもおんくきそのきくうり
かりのちぎうとくくくらんと
ままごどもいくこくうふ
ちくやひまろのく
されどもたくそーも
ゆくくくまくこを
たてくつのよ
もびもむくとのそ
めくまをとうん
又そのこくろハ
てんき
今日の世の
ぶきうハこるる
そうかをめそ
めげやいうまくう
けれどもふくうの

「あのくんおたりゆ、
いまままあう

「あうとうくくぞう
くまあう
あくまあうこれの
むろのうあう
ぐあのくまくまう
ようー

作者
きてくくん

こまうげこふうくひ
たくちーも
こうげくまをあて
めげやいうり
きえまくハ又
ものうも
たくちーの
きろむくた
ろくくて分の
紐ふい白むく
みそめげやいうを
きくうりーとうり

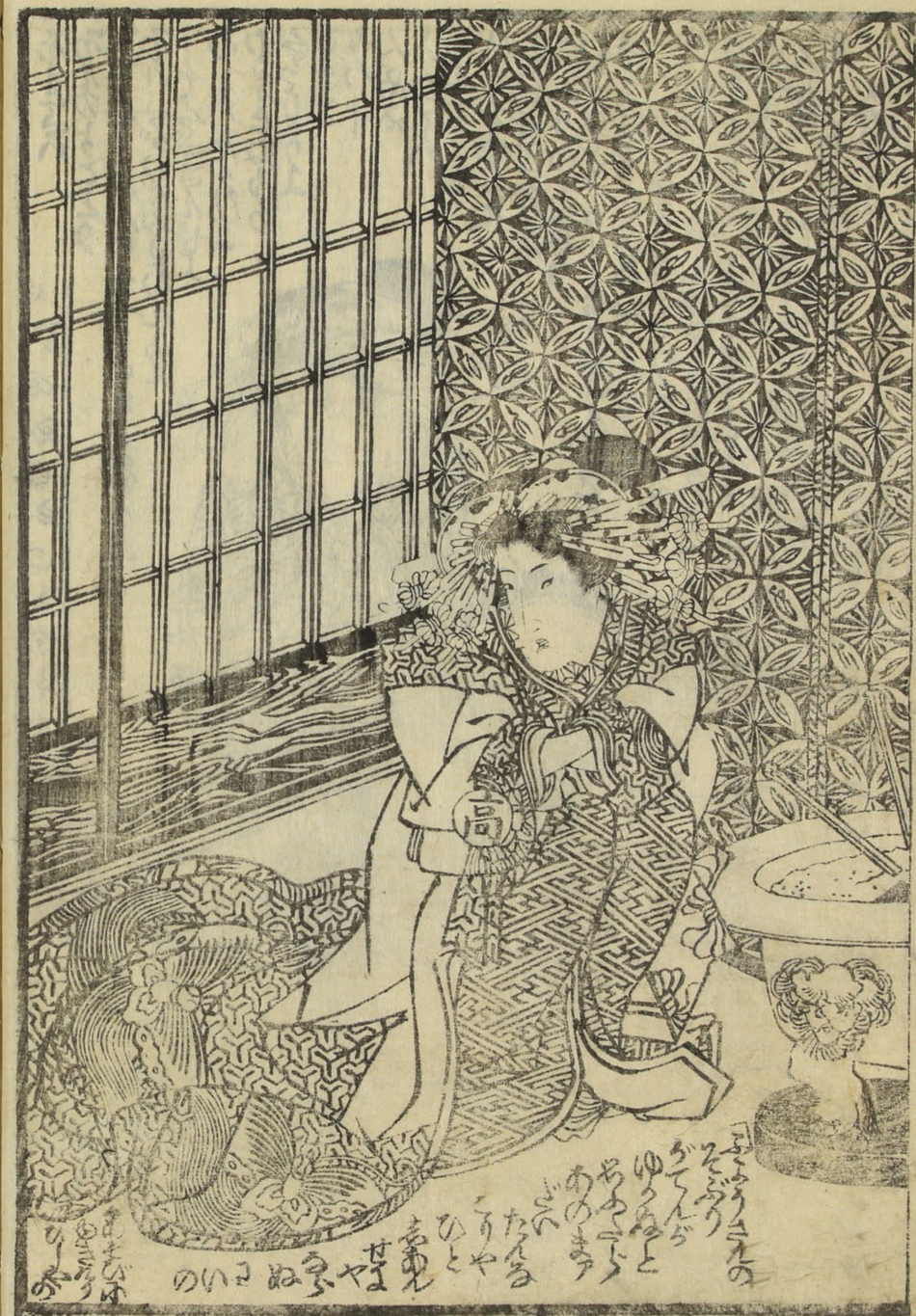
「あのいげんん
てんきくまた
せいのときくん
くまるのちやうよ
ぞふうありーと
今ういいち
めくーよこまうげくと
ろうーもひとくよひーの
ふくうがものうげ　うり

「くまくまくんけわどのんんくうりのまた
きくまぎの きろむくようくとうき
ロぐあのくうりーくくとうたくくくむりひ
くまこびをきくうり きろむくめそいげや
いりとをくうりあの日八さくうまこび今よこの
きろむくとをもちめくんけまをそーようり
ちぐありーくとうり

往昔思大津
一名小のゝ小町
壽ゝ作
稿成近出

新吉原仲之町
京御菓子司
竹村伊勢

素一分より市
貳朱判吉原
男達廓花籠
壽ゝ作
追而出



「あそのさん　あまくのう
あくさんのこころのねんが
わくこころさろたろう
あくろうイごやんさ

「あくろさんハ
さきくへいきやゲ
あくへのう

高

山
大町四丁目
薬用湯屋
府
五位屋八兵衛

つゞき

吸物膳
五十人前
六番之内

つゞき

國安画

坂東彦三郎

筆工 千形道友

仙人 大町四丁目 近江屋八兵衛

右五街道人馬略図

東西〳〵 作者口上

一 京ぢ〳〵いるりぢ屋敷と
かうろうめそうひろめ外ル
此ものの子ぢうあのうちゑも
此用ゐめめせつけられ外ル
八百八丁のまちうちまみまで
ぢうろうとりめげ そそまろ
なめ〳〵あほさまう

傾城水滸傳貳編 全八冊 曲亭馬琴作 哥川豊國画

絲櫻花本朝女訓 全六冊 曲亭馬琴作 哥川豊國画

尾上松緑百物語 全六冊 尾上梅幸作 哥川豊國画

美艶仙女香 世話物 南仙笑楚満人作 坂本氏

左甚五郎 紅絹甚三 當世職人合 全六冊 柳亭種彦作 哥川國貞画

清川八郎 文七 雁金紺屋早染 全六冊 柳亭種彦作 哥川國貞画

情競傾城嵩 全六冊 南仙笑楚満人作 哥川国安画

福神御利生於金返 全二冊 南仙笑楚満人作

新選なを我くらべ 全二冊 哥川国安画

江戸名物錦繪團扇地紙問屋 江戸通油町翠嶺之西 仙鶴堂鶴屋喜右衛門板

後不入 奇縁 梅精 曲 式亭三馬作 全六冊 哥川國安画

草紙